

# みらい台

鈴木 繁雄議員

## 歴史的町名の復活

**問** 城下町仙台の由緒ある伝統的町名は、藩政来の仙台に住む人々の生活文化を織りなしてきた世界文化遺産である。そこで、開府四百年を記念し、由緒ある町名を復活してはどうか。

**答** 歴史的町名を今後のまちづくりを活かすため、歴史的町名等活用推進委員会のなかで現在審議

## 中心市街地空洞化対策に積極的取組を



仙台の歴史ある町名「みらい台」について、市制80周年記念事業として88年整備したものの、現在は空き家となっている。

**問** 地方自治体の財政状況が厳しい折、県の政令市への再開発補助金が削減されるやに聞か、今後の再開発の取組の意欲低下とながりがねない。本市で補填しても再開発事業を積極的に推進すべきと考えるがいかがか。

**答** 懸念される宮城県補助率削減について、本市も厳しい財政状況であることから、宮城県と十分協議し、補助金の確保に努めていく。また、再開発事業への取組意欲の低下を招かないよう、できる限り努力していく。

## 耐震診断助成制度の早期実現を

**問** 宮城県沖地震の記憶が風化しないうちに、木造建築物を含む民間建築物に対する耐震診断助成制度を設けるべきと思うがいかがか。

**答** 耐震診断は想定される被害軽減に有効であるとの認識から、民間建築物の耐震診断及び耐震改修の助成制度について、他都市の実態調査を行った。この調査結果を踏まえて、助成制度の実現に向けて検討していく。

# 自由民主党

佐々木 両道議員

## 東西線の早期完成を

**問** 東西線事業に対する国の補助の行方が心配されているが平成十六年度着工、二十三年完成は可能か。東西線の早期完成は百万市民が大きく期待している。

**答** 東西線は予定通り推進していく。国からは地下鉄事業への補助について厳しい見通しが示されているが、東西線は選挙公約として掲げた最重要事業の一つであるから、その実現に向け、国に対し積極的働きかけを続けていく。

## 待機児童の解消に幼稚園の活用を

**問** 「四年間待機児童ゼロ」達成のために、幼稚園は三歳未満就学児中心として保育事業も行う一方、既存保育所は〇歳・二歳児対応に力点を置くという「仙台方式」を提案する。待機児童対策の見解を伺う。

**答** 待機児童の解消は緊急かつ重要な課題と認識しており、その達成に向け、積極的に施策を実施していく。現在策定中の保育所整備計画では、認可保育所の整備に重点的に取り組むとともに、預かり保育のノウハウを持つ幼稚園にも一層の協力が得られるように



長町副都心構想の事業見直し、青葉山公園整備の進捗状況、構造改革の推進について、市民本位の行政改革を願う留守家庭児童保育について、未就学児童の二十四時間保育、

# 市民フォーラム

安孫子 雅浩議員

## 市長の選挙公約と実行

**問** 市長がだから実行しますと市民に約束した、保育所持機児童ゼロや都心部の市バス料金百円均一、ごみゼロに向けての取組等の選挙公約の実行は、危機的財政運営の中で新たな財政負担を伴うが公約の実行への基本認識を伺う。

**答** 選挙公約はいずれも二十一世紀都市・仙台の市民生活にとって差し迫った改革すべき具体的課題であり、その実行に当たっては、それらの政策を予算編成の重点分野と位置付け、徹しいマイナスイテリングの枠の中で財源を見出し、市民との協働により費用削減や効率的な推進を図っていく。また、政策の実現を通して都市の環境向上や都市の活力を生み、市財政に貢献するものにつなげたい。

## 定禅寺通り歩行者天国構想の実現



定禅寺通りの遊歩道

**問** 本市は緑の中に都市が包まれる「百年の杜づくり」に取り組み、定禅寺通りの歩行者天国構想は藤井市政の象徴として是非、実現すべき。車優先の価値観から転換させる市民への啓蒙効果も大きいと考えるがいかがか。

**答** 定禅寺通りのケヤキ並木は、(仮称)松森一環の市民利用付帯施設(介護保険事業の初年度の総括

# 公明党

笠原 哲議員

## 行財政改革の更なる推進について

**問** 最近の各種経済指標や地価の動向を見ると、市税が増収に転ずる要因は見当たらない。財政健全化への重要な方策である行財政改革を更に推進するため、これまでの行政主導の改革を転換し、様々な市民代表を入れた常設の外部委員会を設置し、健全な都市経営を図るべきではないか。

**答** 新行財政改革推進計画を推進し、職員定数削減や経常経費削減等の成果を得られたが、厳しい行財政環境の中での確かな都市経営を推進するために、早期に新たな推進計画を策定したい。

## 学校の安全対策について



職員室の配置については、校内のトラブルや地震・火事等に対応しやすく、子供が足を運びやすい位置を考慮し学校と協議の上決定している。しかしながら、先般の事件を教訓とし各学校の構造上の事情はあるものの、既存校の職員室の移設を含め、学校側と十分協議の上、必要な措置を講じていきたい。

# 代表質疑

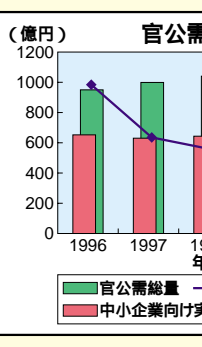
## 日本共産党

福島 一恵議員

## 公共事業を見直し中小企業への発注を高めよ

**問** 地方交付税を一兆円削減れば本市も二十億円の減額が予想される。自公政権の押しつけを黙って受け入れるつもりか。市の中小企業への発注率は昨年度で五・三％、ついに六割を割った。公共事業は、地元中小企業に直接発注でき、かつ雇用拡大にも結びつく生活密着型に切り換えるべきではないか。

**答** 地方交付税を一律削減することは地方への負担軽減に過ぎない。地方交付税制度の見直しは、税源配分の見直しと一体で議論されるよう国へ強く要望していく。公共事業は、本市の発展を先導する戦略的業務として、民間生活に密着した事業の双方に配慮して進める。



**問** 空き店舗対策として起業家に支援策を、本市商店街の更なる振興のため、商店会とともに創意工夫を

**答** 起業者支援と空き店舗対策として、サンモール商店街と検討してきたチャレンジショップ事業を近日中に開始する。小規模商店会への支援は、中小企業支援センターへ相談をいただくことで、種々の助成制度等により効果的な支援ができる。その他の質疑項目

## グローバルネット仙台

柿沼 敏万議員

## 戸籍偽造事件の被害者の救済と再発防止に最善の尽力を

**問** この事件は人権に関わる重大な事柄で、被害者及び家族の心情は察するに余りある。本市の職量権を最大限用いて被害者の戸籍の原状回復と再発防止に独自の対応を速やかに行うべきと思うが、

**答** 戸籍事務は、国の指導監督のもと、ほぼ全国一律に執行されるもので、市町村の裁量権は極めて



戸籍窓口

**問** 公営企業の民営化を含む在り方をもっと議論すべき。規制緩和や自由化の大きな改革の流れのなかで、本市の公営

**答** 公営企業については、機動的性、能率性が必ずしも発揮されがたい状況にある。公営企業の抱える本質的な課題は、「公共の福祉の増進」と「企業の経済性の発揮」という二つの原則が生かされるかにあり、この原則が高度化した現代社会で十分実効性が保てるかが最大の課題である。今後、民営化も含め、総論を基本としながら、的確な情報を示し、各事業の状況等にも十分配慮して進めていく。

# 社民党市議団

大槻 正俊議員

## 緊急に本格的な雇用政策を

**問** 市長選の公約である雇用政策の推進を伺う。いつ頃からどのような組織で、どのような取組を行うのか。本市独自の取組も展開すべきである。

**答** 本年、宮城野障害者福祉センターを開設するとともに、青葉障害者福祉センターの整備を予定しており、今年度基本計画を策定中で、これに従い施設の着実な整備を行っていく。また、デイホームと同様の役割



宮城野障害者福祉センター 平成13年10月12日開館

**問** 障害者支援のため、施設充実の展望、「デイホーム」の開設支援について伺う。

**答** 本年、宮城野障害者福祉センターを開設するとともに、青葉障害者福祉センターの整備を予定しており、今年度基本計画を策定中で、これに従い施設の着実な整備を行っていく。また、デイホームと同様の役割

# 常任委員会

平成13年9月19日開催

## 総務財政委員会

一般会計補正予算みやぎマルチメディア・コンプレックス構想推進関連部分等について審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。入札・契約制度の見直しについて、地方税財源の充実確保と地方交付税削減の見直しについて

## 健康福祉委員会

児童福祉施設条例改正について、児童クラブ室の規模について、入会希望者が多く施設の制約等がある場合の対応について、今後の放課後児童対策について、火葬場条例の改正について、料金改定の理由と利用者負担割合の根拠

## 都市整備建設委員会

長町副都心住宅地区整備計画区域内の建築物に関する制限を定めることについて、仙台市公共工事コスト削減に関する新行計画平成十二年度実績について、合流式下水道の雨天時放流水緊急事態調査結果について

## 公営企業委員会

本委員会に付託された議案なし報告事項として、交通局から、地下鉄駅八力所に介護用ベットの設置し、利便を図る旨の説明があった。これにより、「ひとにやさしいまちづくり」の施策がまたひとつ実現したことになった。